



徘徊高齢者見守りシールの交付について

亀山市は、4月から、徘徊高齢者の早期の発見、保護及び引渡しを図るとともに、当該高齢者を在宅で介護する人やその家族の精神的負担を軽減することを目的として、「徘徊高齢者見守りシール」を交付します。

わが国では超高齢社会を迎え、2025年には認知症高齢者数は約700万人といわれており、65歳以上の5人に1人が発症すると見込まれています。

現在、市では、認知症等により徘徊が見られる高齢者の見守り支援について、地域住民や民間事業者の協力を得るほか、徘徊探索装置給付事業等を実施していますが、今後も続く高齢化に伴い認知症高齢者の増加が見込まれる中、徘徊高齢者の早期発見を支援する対策の強化が求められているところです。

そこで、この度、徘徊により行方不明となる可能性がある高齢者を介護する家族等に、徘徊高齢者見守りシールの交付を始めます。当該高齢者が行方不明となったときに、発見者が見守りシールに印刷されたQRコードを読み取ることで、本人確認や家族等への連絡ができ、早期発見・保護につながります。

交付希望者は、健康福祉部長寿健康課高齢者支援グループまでお問い合わせください。なお、事業の概要は、別紙をご覧ください。

今後も、高齢者が安全で安心して暮らせるまちの実現に向けて取り組んでいきます。市民の皆様には、このシールを付けた高齢者をまちでお見かけの際には、早期の保護にご協力くださいますようお願いするものです。